

令和元年度 芹が谷地域ケアプラザPDCAシート_公表用
(事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

少子高齢化が急激に進んでおり、山坂の多い事に起因した買い物や通院時の外出困難者が増加している。また、8050問題をはじめとして個別課題が複雑化しており、地域の支えあいとしては負担が大きく、対応が難しくなっている。専門職間の関係性の構築と自治会町内会を中心とした隣近所の関係性を見直し、小さなコミュニティでの支え合いが重要である。

また、これまで以上に、商店や企業、福祉施設等と連携し、ニーズ(外出支援、近隣コミュニティの醸成等)の解決に向けた取り組み・サービスの検討、若い世代も含んだ新たな担い手の確保が必要である。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・地域の体操教室、民生委員ひとり暮らし食事会、町内会・自治会の定例会に出席し、参加者の集まりの中で包括業務と介護保険制度の説明を行う。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・福祉施設連絡会を年度で2回開催し、施設の出来る事や困りごとの共有を行い、地域と共に出来る事を検討する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・たすけあい広場定例会に毎回参加し、地域課題を共有し、買い物支援等、具体的な取り組みを検討する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・若い世代(子育て世代等)を対象とした事業を企画し、若い世代も利用できる施設としての周知を更に進める。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	・港南区エンディングノートの講座を開催する。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

・様々な課題や情報交換を行う場(支えあいネットワークや福祉施設連絡会、地域ケア会議等)を5職種、区社協、区役所と連携して行い、様々な活動が立ち上がった。3期地域福祉保健計画4年目として様々な成果が出た1年だった。
 ・地域の方や民生委員を対象としたエンディングノートの普及啓発と並行して、法人の強みである医療の視点を取り入れ、ACPの普及啓発を実施することが出来た。また、普及啓発だけでなく、実際にエンディングノートを活用いただけるよう、アンケートを実施し、効果測定を行えている。
 ・若い世代を対象とした事業を各種開催し、新たな利用者獲得、貸し館利用率・利用者数共に向上した。
 ・地域課題を共有し、買い物難民を始めとした様々な課題に対して主体的に関わり、移動販売等の取り組みを検討するきっかけとなった。

区からのコメント

地域の活動支援については、近隣の地域ケアプラザや関係機関と連携して、取り組んでいます。地域の住民や施設とのコミュニケーションを大事にしており、その結果、まちの給水所や移動販売などの成果につながり、地域ケアプラザとして、地域と協働して取り組む姿は大変素晴らしいと思います。

エンディングノートについては、積極的に講座を開催し、その効果測定まで独自で考案するなど、精力的に取り組んでいます。

支えあいネットワークなどでできてきた学校とのつながりが自主事業にもつながってきています。若い世代を対象とした事業も実施していますが、よりニーズに合った取組になるように学校や関係機関とのつながりを生かし、成果が上がることを期待しています。